2022年度活動概要　　バイリンガリズム研究会

バイリンガリズム研究は 1996 年設立以来，CALP や PISA 型リテラシーの発達や育成について研究してきた。これまでに，小学校，中学校，高等学校，そして大学レベルでの言語教育はどうあるべきかをバイリンガリズムの視点から検討してきた。 2022 年度は Translanguaging の考え方と指導法を考察し, バイリンガリズムの理論と実践にいかに統合し発展させるかを検討した。

本年度の研究会は 2 か月に 1 回のペースでオンラインで行った。最近注目されている概念である Translanguaging について，*Bilingual Education in the 21 st Centur*（O. Garcia，2009）の輪読を昨年来進めてきたが，本年度は実践と結びつけさらに発展させて理解を深めた。この間，これまでの研究会での発表やお互いの研究を取り入れたディスカッションをしながら考察した。Jim Cummins の 10 月に行われた二つのオンライン講演に積極的に参加して，例会ではそれらの報告とディスカッションがなされた。

新メンバーも加わり，小学校英語の観点からなど多面的な意見交換も可能となり，例会では活発な議論が展開された。現在，研究会のプロジェクトとして高校の教科書分析を計画し，その具体的な調査分析案を検討している。

活動の成果を以下のように発表した。

・JACET 関東　SIG 発表(Online, 2022)
　バイリンガリズム研究会：Translanguaging の英語教育を考える（平井，福岡）
　７月９日（土）16:20-16:25

・The 61th JACET International Convention (Online, 2022)
　JACET Hours　バイリンガリズム研究会紹介（清水，河野，蒲原，平井）
　8 月 26 日（土）9:00-10:00

・JAAL in JACET（2022 年 12 月 3 日）
　Translanguaging Concepts and Approaches　（河野）

研究会のウエブを運営し情報発信している。

https:www.clas.kitasato-u.ac.jp/faculty/jacet-bilingualism